

「からす座」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

私と同じ宿舎に住んでいる友人が、先日カラスに襲われた。カラスの巣があるのは、私も知っていたが、特に気にしていなかった。しかしある朝突然、友人が背後から後頭部を襲われた。一旦逃げたものの、何度も執拗に襲われ、全治6時間の重軽傷を負った。下写真が襲われた現場である。幸い現在は、巣は撤去されたようで、私も安心して自転車をこぎ出せる。



今の時期のカラスは怖いですが、もっと面白い「カラス」もいる。アメリカのコメディアン「チャーリー・カラス」である。恐らく、日本では無名の役者だろう。



チャーリー・カラス Charlie Callas (1924 - 2011)

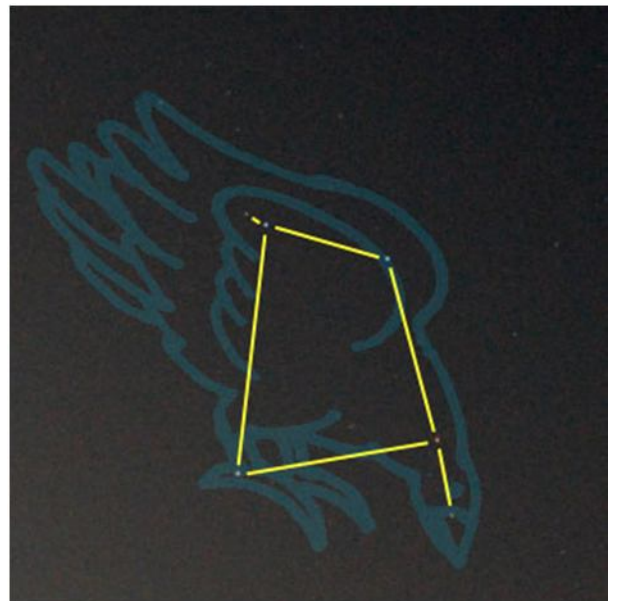
“Amazon Women on the Moon” より

私はこの喜劇役者の大ファンで、学生時代にアメリカを旅行した時に、わざわざ出演ビデオを買ってきたほどだ。とにかく、やること成すこと面白い。

星空にはかわいらしい「カラス」がいる。その名もズバリ「からす座」である。北斗七星の柄をどんどん延長してゆくと、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカを結ぶ線ができる。これを「春の大曲線」と呼ぶ。その更に延長上に、いびつな四角形の小さな星座がある。それが「からす座」だ。



からす座は小さいが、同じような明るさの星が四角形を作るので、美しく、よく目立つ。東京の夜空でも南天に観望可能だ。それにしても、この四角形からカラスを思い描いた、古代の人々のセンスは素晴らしい。



北軽井沢で撮影 作図 ; C.Tanaka